**５節　フランス革命とウィーン体制**

年　　　　組　　　番　名前

**【フランス革命】**

●フランスの財政難 →特権身分へ課税

　→1789年　フランス国王〔①　　〕が三部会開催

　→第三身分は憲法制定をめざして〔②　　〕を発足

　　　↳旧体制批判

　→7月14日パリ民衆によるバスティーユ牢獄襲撃…**フランス革命**勃発

　→国民議会は『〔③　　〕』を発表

すべての人間の自由と平等を宣言

●1791年　憲法制定 →〔④　　〕発足

革命の拡大をおそれる

　1792年　隣国と戦争勃発

　　　→〔⑤　　〕成立…**共和政**(**第一共和政**)の宣言

　1793年　ルイ16世の処刑

　　　→政権をにぎる山岳(ジャコバン)派が議会解散

　　　→〔⑥　　〕とよばれる独裁体制

　1794年　テルミドール9日のクーデタ

　　　→指導者〔⑦　　〕らが逮捕・処刑

　1795年　総裁政府の発足 →政局は不安定で混乱

**【ナポレオンの大陸支配】**

●1799年：軍人〔⑧　　〕

〔⑨　　〕**のクーデタ**で権力をにぎる

　→　・周辺諸国との戦争を終結

　　　・ナポレオン法典の制定(1804)…フランス革命の理念をひきつぐ

　　　　　＝　封建制の廃止

　　　　　　　契約の自由

　　　　　　　所有権の不可侵など

　→安定をのぞむ人々の期待にこたえる

●1804年　ナポレオンが皇帝(**第一帝政**)

　→再開した戦争でヨーロッパ大陸諸国に勝利

　→〔⑩　　〕を発してイギリスに対抗

　1812年：**ロシア遠征**に失敗→諸国民の反抗→皇帝の敗退と退位

フランスの支配に不満

**【ウィーン体制】**

オーストリアの〔⑪　　〕が主催

●1814～15年　**ウィーン会議**

　目的：

　　　ナポレオン戦争の後始末

　　　新たなヨーロッパの秩序をつくる

　→新しい国際秩序の成立＝**ウィーン体制**

　　　　　　 ささえる

　　　神聖同盟　　　四国同盟(のち五国同盟)

●ウィーン体制…〔⑫　　〕**：**フランス革命前のヨーロッパを守る

　→大国の勢力均衡が優先

**自由主義**や〔⑬　　〕などの考え方の人々**国民主義**，**民族主義**

→各地で自由・独立・統一を求める運動があいつぐ→鎮圧

●海外

 ・ラテンアメリカ諸国：スペインやポルトガルから独立

 ・ギリシア：オスマン帝国に対する独立戦争を経て独立

 ウィーン体制が大きく動揺

●フランス

　1830年　パリの民衆の蜂起＝〔⑭　　〕勃発

　　　　　→オランダから〔⑮　　〕独立

　1848年　パリ民衆がふたたび蜂起＝〔⑯　　〕勃発 →**第二共和政**の誕生

●革命がヨーロッパに拡大 →諸国民が各地で運動 →ウィーンからメッテルニヒが亡命

　　　　　　＝ウィーン体制の崩壊

**５節　フランス革命とウィーン体制**

年　　　　組　　　番　名前

 **主題の問い 　フランス革命とウィーン体制のもとで，政治体制はどのように変化していっただろうか。**

|  |
| --- |
| 　 |

 **？ 　1⃣の絵とフランス人権宣言から読み取れるフランス革命がめざしたものは何だろう。**

|  |
| --- |
| 　  |

 **？ 　両手をあげ，手のひらに穴があいているこの人物はだれをイメージ？**

|  |
| --- |
|  |

 **！トライ 　あなたはウィーン体制を崩壊させた要因のうち，自由主義とナショナリズムのどちらが重要だと考えるか。また，その理由は何だろう。**

|  |
| --- |
|  |